



NNA (THAILAND) CO., LTD.

Address : 240/14 Ayodhya Tower 12B Fl., Ratchadapisek Rd., Huay Kwang, Bangkok, 10310 Thailand
Tel : 02-274-0346 Fax : 02-274-0351 E-mail : sales@nna.co.th

MCI(P)046/04/2014

丸善製茶、シンハと合併設立 日本製法の緑茶を北部で生産

緑茶などを製造・販売する丸善製茶（静岡県静岡市）は5月30日、ビール大手シンハ・コーポレーション傘下に持つブンロート・ブルワリーと合併会社の設立に関する契約を締結した。新会社「丸善フード（タイランド）」を設立し、煎茶、深蒸し茶など日本製法の緑茶を北部チェンライで生産。タイをはじめとする東南アジア諸国連合（ASEAN）各国に展開する。日本の食文化の浸透で高まる本物志向の緑茶需要をつかみ、1年目に売上高1億バーツ（約3億円）達成を目指す。



合併会社設立の契約を締結した丸善製茶の古橋剛俊代表取締役（右から2人目）とブンロート・ブルワリーのプリット・ダイレクター（同3人目）＝5月30日、バンコク（NNA撮影）

丸善フード（タイランド）の資本金は5,000万バー

ツ。シンハの100%子会社ブンロート・ファームと丸善製茶の折半出資で、資本金は大半をチェンライの工場設立費用に充てる。工場は12月をめどに稼働する計画で、丸善製茶が日本で展開する煎茶、深蒸し茶、玄米茶、水出し煎茶、冷水用緑茶ティーバッグ、抹茶などを生産する。年産能力は当初100トンの見込み。

工場はブンロート・ファームが保有する600ライ（96ヘクタール）以上の茶畑の隣に設置する。建屋面積約1,800平方メートルの荒茶工場と約900平方メートルの製品加工施設の2棟。茶葉はブンロートの茶葉を使用し、蒸して茶葉の発酵を止める日本式の緑茶に加工する。中国式の釜炒りで発酵を止める緑茶生産が一般的なタイで、本格的な日本式緑茶の生産は初めてという。

タイでは北部で緑茶生産が盛んで、関係者によると茶（次ページへ続く）

[2]The Daily NNA タイ版【Thailand Edition】 第04763号

2014年(平成26年)6月2日(月)

葉や粉末などの緑茶の市場規模は数十億バーツ。

本格志向の需要高まる



古橋代表取締役は、日本製法の緑茶販売に自信を示す＝5月30日、バンコク（NNA撮影）

生産した緑茶は、ブンロートの販売チャンネルを利用してタイ国内のレストランなどに販売するほか、小売りも計画する。有糖の緑茶飲料が浸透しているタイだが、健康志向の高まりで無糖の本格的な緑茶を好む人は今後増えるとみる。タイ

は緑茶の輸入関税が90%と高いため、現地で生産する新会社の製品の販売価格は輸入品の半額近くに下がる見込み。

丸善製茶の古橋克俊常務は、「タイでは玄米茶や緑茶ティーバッグの人気の高い。関税なしで価格は安くなるが、安売りするのではなく、高い品質の商品の提供に注力したい」と抱負を述べる。年末にはタイのお茶のイベントにも参加し、新会社の商品をアピールする予定。

国内販売と同時に、ASEANと、日本からの緑茶輸入が盛んな台湾、香港、シンガポール向けの輸出も始める方向で検討している。

ブンロート・ファームはチェンライに8,000ライ以上の農場を保有し、海拔1,485メートルの高地にある茶畑で緑茶やウーロン茶などを年間約400トン生産している。